

○本校のミッション(使命、存在意義)

【教育目標】 「豊かな人間性を培い、主体的、創造的に自己実現をめざす、
心身ともにたくましい生徒を育てる。」

【指導の重点】 1 確かな学力の定着と向上を図る。

基礎基本の定着と活用型の授業改善 全国・県学力調査で標準スコア50を超える

2 豊かな心を育てる。

(1) 絆づくり

一人一人が存在感と達成感もてる集団

人や地域とつながり互いを認め合える集団

(2) 居場所づくり

安心して学べる環境 「時を守り・場をきれいにし・礼をつくす」

3 将来に夢を持ち、自ら考え行動し、主体的に自らの力で進路を切り拓く力を育てる

4 小学校や地域との連携を進める

(1) 郷土愛

ふるさとを知り、地域に誇りと愛着を持ち津山人として地域や社会で活躍し貢献しようとする

意欲と力を育む

学校は「一人前の大人になるための学びの場」である。自分の良さや個性に気づき、それを主体的に伸ばそうとする心や態度は、中学生時代に基礎が培われる。本校教育目標・指導の重点達成に向け、全教職員が協働して教育活動を展開し、信頼される学校づくりに努めたい。

○内外の環境分析

【内部環境】

○多くの生徒は、向上心が旺盛で、規律の遵守ができ、誠実な学校生活を送ろうとしている。

●規範意識が低く自己理解ができず自分と向き合えない生徒や、場に応じた自己コントロールができない生徒、コミュニケーションが苦手で人間関係づくりが難しい生徒が増えてきている。スマホの所持率も高く、SNS等のネット利用に対する課題意識が低い。

●学力差があり、学習意欲の低い生徒もいる。家庭学習の習慣が十分ついていない。

●長期欠席者や不登校・不登校傾向生徒が多い。

【外部環境】

○教育熱心な保護者が多く、学校への期待度が高い。地域市民も同様である。地域には教育資源が多く人的資源や物的資源も多い。

○学区は、市街中心部の商業地域・新興住宅地域・農山村地域と広い。保護者の生活環境も様々であり価値観も多様化している。

●地域とのつながりや保護者同士のつながりが希薄化してきている。

○ミッションの追求を通して実現しようとする本校のビジョン(将来像、目指す姿)

学校は「一人前の大人になるための学びの場」である。

1 めざす学校像

○地域と協働する学校

○学力、人間力の向上に取り組む学校

○一人一人の居場所のある学校

2 めざす生徒像

○友情 思いやりの心を大切にし、友情を深める生徒

○責任 一人一人が責任のある行動をする生徒

○躍動 それぞれの目標・夢に向かって、全力を出し合う生徒

3 めざす教職員像

○本校の教育課題を深く理解し、果敢に立ち向かうことのできる教職員

○強い使命感と情熱、高い倫理観、豊かな教育的愛情を持った教職員

○多様な経験を積む中で協働して課題解決にあたるなど、生涯にわたって学び続ける教職員

○当該年度の具体的な学校経営目標・計画

【学校経営スローガン】「生徒一人一人が堂々と自分の夢を描き、夢を語り合い、夢を実現できる学校」

取組1 落ち着いた学習環境づくりを推進し、学習意欲の向上を図り、生徒の進路を保障する

- 1 進路指導の充実（生徒が自分の生き方を見いだすキャリア教育の視点に立った進路指導）
 - ・生徒一人一人の教育的ニーズに応じた進路決定の支援と進路保障、自立と社会参加を支援する
- 2 授業のユニバーサルデザイン化の推進と授業改善による学力向上の取組
 - ・「学びのサイクル」の具体化・見える化・徹底・確認 ※「navima」学びポケットの活用
 - ・授業展開（目標・まとめ・振り返り・学び合い、授業のユニバーサルデザイン） 岡山型学習指導
 - ※全国・県学力調査で標準スコア 50 を超える力をつける授業の実践 ※全校英語単語テストの実施
 - ・生徒一人一人の学力向上のための授業の工夫（めあて等含、伴走） 教科会（他教科横断も含）の充実
 - ※基礎学力の定着（読解力の向上 よむ YOMU）と個々の生徒が志望する進路選択に対応する力をつける
- 3 学習意欲の向上（主体的に学ぶ意欲と学び方の育成、個別最適な学び、協働的な学び、学びを委ねる）
 - ・落ち着いた学習環境、朝読書、朝学習、※まなっぴ WEEK、補充重点学習（放課後学習）
 - ※生活記録を活用しタイムマネジメントを意識した自律的学習者の育成
 - ・家庭学習習慣の定着…「学習の手引き」の活用方法の工夫と小中連携 授業との結びつき、適切な課題と評価 保護者への働き掛け 生徒への仕掛け（班単位での取組等） 内容の転換 自主学習の奨励
 - ※家庭学習1時間以上の割合 75%以上 読書活動の推進 ※英語力向上の取組（デジタル、英検 IBA）
- 4 特別支援教育の充実…生徒一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育の充実
 - ・教職員個々の特別支援教育に対する意識向上と理解及び保護者との信頼関係の構築
 - ・特別支援学級と通常学級の「個別の指導計画・教育支援計画」の作成と組織的活用及び関係機関との連携（通級指導教室指導教諭・総合教育センター指導主事・推進ナビゲーター等の校内研修への招聘）
- 5 情報教育の充実…生徒一人一人が変化に対応できる態度・能力の育成とICT機器活用の推進
 - ※1人1台端末を積極的に活用した授業研究と教育データを活用した授業改善（個別最適な学び）
 - ※各教科等の積極的ICT機器の活用
 - ※端末の定期的な持ち帰り 主体的な「navima」と「学びポケット」の活用 個別学習向けAIドリルの活用

取組2 規範意識の向上をめざし、基本的な生活習慣の確立を図る（改訂生徒指導提要に沿った対応）

- 1 規範意識の向上…健全育成（生徒指導）の充実と確固たる規範意識と自己指導能力の育成
 - 「時を守り」……時間を意識した行動、遅刻をしない（2分前入室・1分前着席）
 - 「場をきれいにし」…整理整頓、落ち着いた環境（靴をそろえる）、清掃指導
 - 「礼をつくす」…挨拶（先言後礼）、言葉づかい、マナー、服装、靴揃え、職員室への入退室の仕方
 - ・北陵中学校いじめ対策基本方針に沿ったいじめを許さない学校づくり（相談する力と訴える力の育成）
 - ・情報モラル教育の意図的・計画的・継続的な実施（学校・生徒会・PTAの具体的取組）
 - ・社会の変化に対応した迅速・適切な指導（ケータイ・スマホ等の適切な活用）
 - ※家庭での時間・場所・マナー等のルールづくり 60%以上とメディア犯罪防止
- 2 道徳教育の充実（心に響き、心を耕す道徳教育 考え議論する道徳）
 - ・道徳推進教師等を中心とした校内指導体制の確立と適切な評価、地域・保護者との連携・協力
 - ・教科書「とびだそう未来へ」や地域教材等の道徳資料の活用等による道徳実践力の育成

取組3 好ましい人間関係や思いやりの心の育成とともに高め合い・学び合う集団づくりを進める

- 1 互いに高め合う集団を目指した社会性の育成 ※人を大切にして、聴くことを徹底する
 - ・ピアサポート、アンガーマネジメント、自己肯定感を高める取組等の計画的な実施
- 2 不登校・不登校傾向・別室・保健室登校・長期欠席者等配慮を要する生徒への適切な対応
 - ※「さわやか教室」の運営の充実 ※誰一人取り残されない
 - ※「保護者の会」の開催 生徒・保護者から進路等の求められる情報をきちんと提供する
 - ・アセスやアンケート等を活用した教育相談活動の充実による適切な対応
 - ・SCやSSW、関係機関（鶴山塾・子育て相談室・児童相談所・医療機関等）との連携
- 3 生徒の自治活動・体験活動（職場体験、ボランティア活動等）の充実
 - ・一人一人が存在感と達成感の持てる主体的な生徒活動を実行 絆づくり
 - ・自主的な活動を通し、自治能力の育成を目指した生徒会活動の推進 ※学校は自分たちで変えられる
 - ・体験的な学びを通した集団づくりとして、行事・総合的な学習の時間・生徒会活動・ボランティア活動など生徒が主体的に活動するための工夫
 - ・学校行事や学年行事にどの生徒もリーダーとなりうる場を設定した、お互いを高め合う集団づくり
 - ※「キャリアパスポート」の適切な活用 職場体験 市教委主催の企業見学への参加

取組4 保・幼・小・中・高・高専・大学等との連携、家庭・地域等との連携による教育活動の充実

- 1 北陵ブロックの連携※授業改善（9年間を見通した「学び」と「育ち」をつなげる） 就学前教育からの学び
- 2 学校情報の発信（ホームページ・学校便り等各種通信）と学校外部評価の充実
- 3 地域の方や健全育成団体・施設・事業所等との協働による学校教育活動、「チャレンジワーク14」の再構築 学校応援ボランティアとして各種団体、高等学校、美作大学、津山高専高校等との連携推進 こみゅの実施 地域学校公開日 学校応援会議 ※学校運営協議会の機能化と推進のための調査・研究の実施
- 4 ※郷土愛（「つやま郷土学」）の取組（地域の本物に触れる体験活動、つやま検定の取組）